

Mackie USB Driver for Windows PC インストール手順

Version 4.12.0

Mackie USB DriverはMackie USBオーディオインターフェースをWindows7® もしくはそれ以上のOSで使用するためのドライバーです。

以前のドライバーがインストールされている方：

現在お持ちのWindows PCにMackieオーディオインターフェース用のMackieドライバーをインストールしている場合は次のページの「Mackie Audio Driverのアップデート」を参照してください。

必要環境

Windows® 7 (32 and 64 bit) 以上の環境

必要最低限ハードウェア環境

Intel Core 2 Duo 2 GHz processor

4GB RAM

USB 2.0 ポート

サポート機種

Mackie Big Knob Studio

Mackie Big Knob Studio+

サポートソフトウェア

Windows® 7 (32 and 64 bit) 以上、ASIO/WDM (Cubase, Nuendo, Pro Tools, Sonar, Traktion, など)

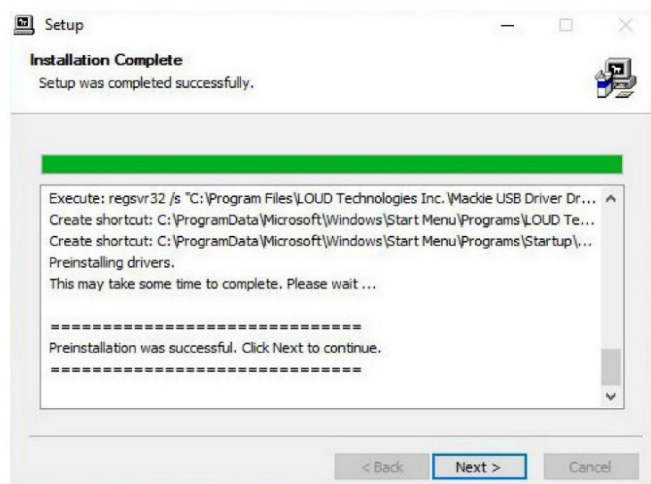
注意：

Mackie USBドライバは、Windowsでのデバイスアグリゲーションをサポートしていません。

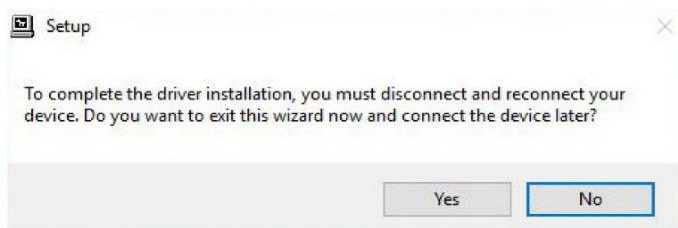
(複数のMackieオーディオインターフェイスを同時に使用する等)

Windowsに初めてインストールする場合

- 1： MackieオーディオインターフェースとパソコンをUSBケーブルで接続し電源をオンにしてください。
- 2： 圧縮ファイルで公開されているUSBドライバーをダウンロードしzipコンテンツを解凍してデスクトップに置きます。
- 3： 解凍したMackie USBフォルダの中で、MackieSetup.exeをダブルクリックします
- 4： インストールが完了するまで、画面の指示に従ってください。コンピュータに変更を加えるために、ユーザーアカウントコントロールによってプロンプトが表示されることがあります。その場合は、Yesを選択して続行します。



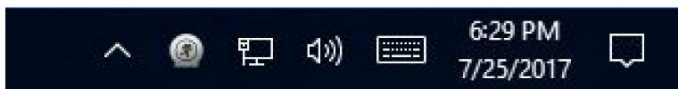
support_mackie@otk.co.jp



5：インストールが成功した後、インストーラのダイアログボックスを閉じて、録音を開始できます

注意：この段階でMackieのWebサイトからダウンロードした.zipファイルと解凍ファイルを削除することもできます。

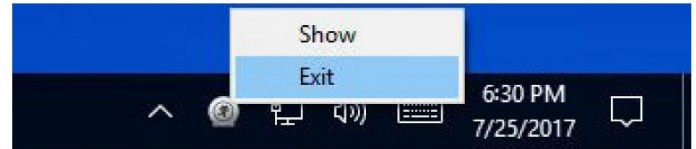
ドライバーのインストールが完了するとMackieオーディオインターフェースは、iTune®やWindows® Media Playerなどのコンシューマオーディオアプリケーションだけでなく、任意の標準ASIOデジタルオーディオワークステーション（DAW）ソフトウェアで使用できるようになります。



レイテンシモードとバッファサイズを変更することができるコントロールパネルに簡単にアクセスするには、Running Man | Mackie Task Barアプリケーションが表示された状態にしてください。[コントロールパネル]> [通知エリアのアイコン]に移動し、[Mackieタスクバー]の横にあるプルダウンでアイコンと通知を表示を選択します。これにより、Running Manロゴがシステムトレイに残ります。

Mackie Audio Driver のアップデート

1：Mackie Running Manアイコンを右クリックし、「Exit」を選択します。その後、USBケーブルをデバイスから外します。



- 2：[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]> [プログラムと機能]に移動し、以前のドライバを選択します。
- 3：「アンインストール」ボタンをクリック
- 4：画面の指示に従ってアンインストールを完了してください。
- 5：1ページ目の指示に従って新しいドライバーをダウンロードしインストールしてください。

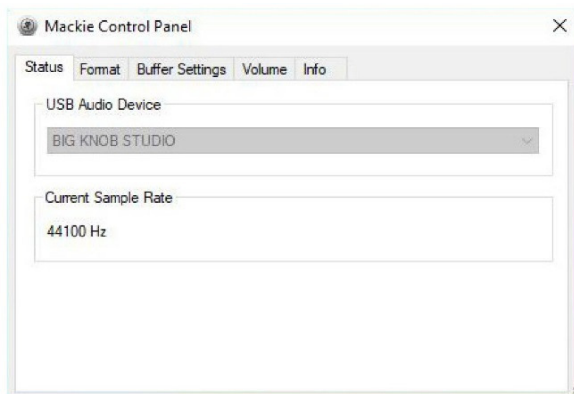


support_mackie@otk.co.jp

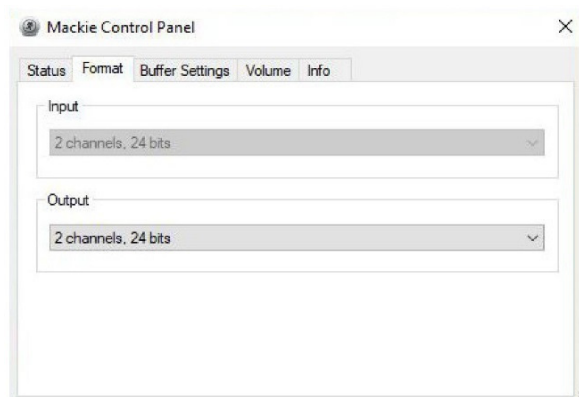
ドライバーが一度インストールされると

Mackie USBドライバーの設定はMackie Running Manアイコンをクリックするとアクセスできます。コントロールパネルのメニューは以下の通りです。

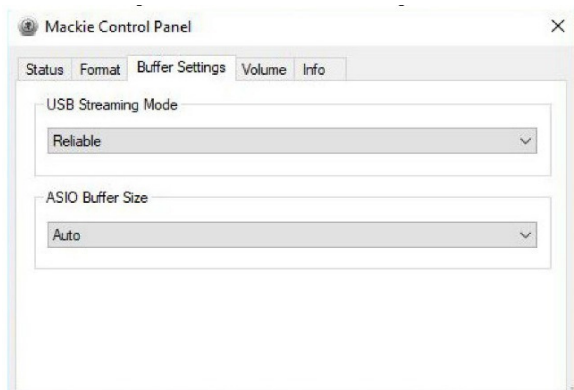
- 1: Status-USBオーディオデバイスの設定
現在のサンプリングレートを表示します。



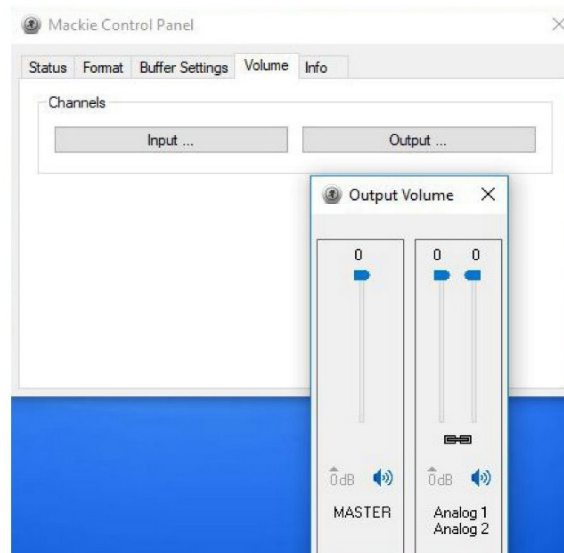
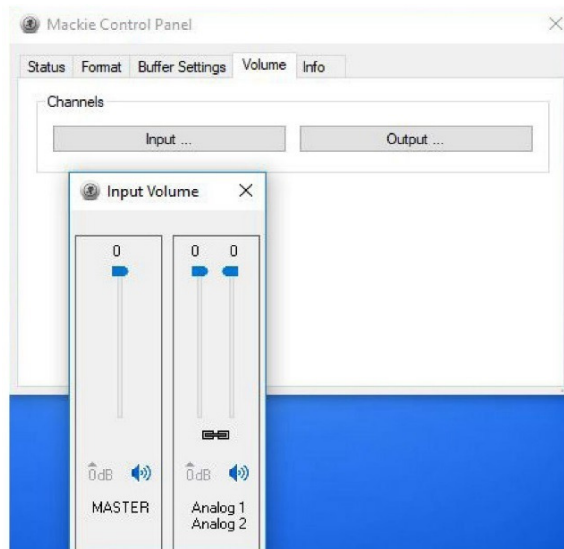
- 2: Format-入力設定を表示し、出力Bit設定の変更ができます。



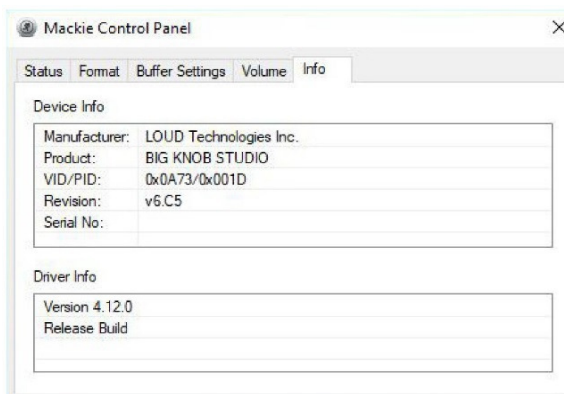
- 3: Buffer Setting-USBストリーミングモードとASIOバッファサイズが変更できます。ASIO Buffer SizeはAutoに設定することをお勧めします。最適なバッファ設定方法は次のページをご参照ください。



- 4: Volume-入力と出力のボリュームが変更できます。これらは初期設定のまま変更しないことをお勧めします。



- 6: info-デバイスとドライバーの情報を表示します。技術サポート問い合わせ時に必要になるかもしれません。



Mackie USBドライバーコントロールパネルを使用し レーテンシーを変更

最適なシステムを構築するにはバッファサイズの設定を行う必要があります。

USBストリーミングモードは、USBオーディオインターフェイスからの入出力オーディオデータのためにメモリ量を設定します。

一方、ASIOバッファサイズはDAWの処理、録音再生作業を行うためにメモリ量を設定します。

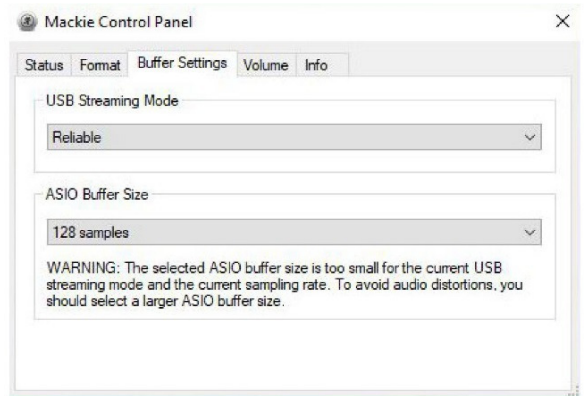
これらの設定はオーディオインターフェイスからコンピューターを経由しヘッドホンとスピーカーに音声データを渡すための遅延または遅延の量を決定します。レーテンシーを低く設定すると、レーテンシーを高く設定した場合に比べシステムに多く負荷がかかります。

一般的にはいくつかのバッファサイズを試してパソコンとDAWレコーディングプロジェクトが最適に動作できる最小のバッファサイズを探しだす必要があります。ASIO BufferサイズをAUTOに設定し、快適に動作するUSBストリーミングモードを選択します。

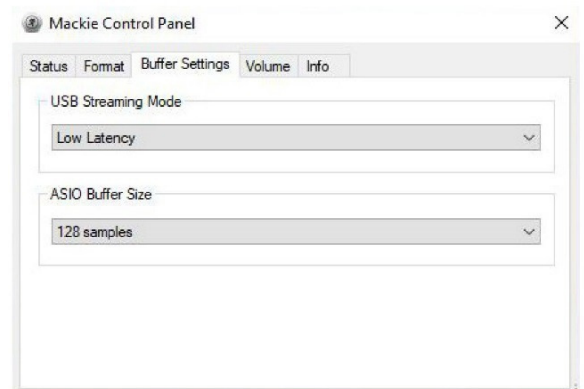
ASIO Bufferサイズを手動で設定した場合、Mackie USB Driverを使用し最小で64サンプリングレートに設定が可能です。（使用されているDAWによって異なる場合が有）ただし、この設定をすると大量のRAM、ハイスピードのハードディスクなどハイスペックのパソコンが必要になります。

お使いのコンピューターに最適な設定を見つけるためには、それぞれの設定を試し、コンピューターがフリーズしないように、また歪みの無いサウンドを再生できるように、様々な設定を試す実験的な作業が必要です。フリーズや歪みが発生している場合は、USBストリーミングモードまたはASIOバッファサイズをこれらが発生しない設定に上げて、問題が解決されているかどうかを確認してください。

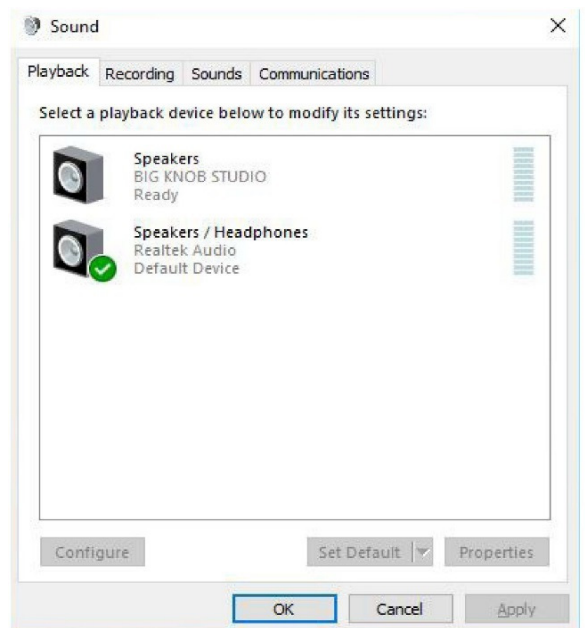
バッファを手動で設定し、現在選択されているUSBストリーミングモードでASIOバッファサイズが小さすぎると、右上のような警告メッセージが表示されます。



このような警告メッセージが表示された場合、USBストリーミングモードを下げるかASIOバッファサイズを上げます。



ASIOドライバーを使用する場合は、コントロールパネルからデバイスのシステムサウンドが無効になっていることを確認してください。デバイスをデフォルトのデバイスまたはデフォルトの通信デバイスとして設定しないでください。



support_mackie@otk.co.jp